

国と地方自治体のあり方・課題 くらし・福祉を支える施策充実

日本共産党磐田市議員 根津康広 議員

国と地方

質問 自治体首長の立場から新政権に求める政治とは。

答弁 政権交代により地方が混乱しないよう、国民の生活が第一という市民生活に基軸を置いた政策の実現を願う。

質問 道州制は賛成できない。市長の見解は。

答弁 地方分権の流れの中で、将来的には道州制に進むと考えられるが、動向を見ながら、国と地方の役割や基礎自治体のあり方等を踏まえ、対応していくことが必要と考える。

質問 雇用情勢悪化の中で、国県に求めるべき施策、市の取り組みべき課題は。

答弁 国県へは、失業者対策をはじめ雇用維持対策及び再就職対策等のさらなる充実を求めていきたい。市もできることを検討していく。

くらし・福祉

質問 感染拡大に見合った新型インフルエンザ対策を。

答弁 市内でも感染者が確認されており、市民への注意喚

起や医師会との協力体制を充実し、感染防止に努めている。今後も感染状況に応じた対応をしていきたい。

質問 要介護認定の新基準の見直しに対する認識と対応は。

答弁 10月の判定基準見直しで、認定水準も昨年並みに近づくと認識する。今後は、10月の申請者から新基準による審査判定を実施していきたい。

重度心身障害児(者)施設 遊休農地

五和会 八木正弘 議員

障害児(者)施設

質問 重度心身障害児(者)の入所施設を本市につくるところを考へては。

答弁 介護や経済負担の軽減を図るため、施設の必要性は十二分に認識している。施設建設及び運営に多額な費用を要することや、利用見込み者数を考慮し、県を含めた広域的な視点で施設整備の検討が必要であると考へている。

質問 袋井特別支援学校卒業後の対応は。

答弁 居宅介護、短期入所等、現在の障害福祉サービスを利

質問 消費者庁発足に伴い、市消費生活センターの充実を。

答弁 本年度より、相談が多い月曜日に相談員を2人体制としている。県を通じ、全国の相談事例を検索できるパソ

遊休農地

質問 耕作放棄地が増加しているが、どう考へているか。

答弁 農地法の改正により、法人等が参入しやすくなることで、耕作放棄地解消の一助

地域防災対策 農林水産業の振興

五和会 村田光司 議員

防災対策

質問 地域防災計画の進捗状況と地域防災力向上の認識は。

答弁 災害対策組織体制の充実・強化を図るとともに、災害時要援護者避難支援計画、災害時の応援協定締結による関係機関等との連携強化を図っている。地域防災力の向上では、自主防災組織支援事業

によるものと期待している。**質問** 市民農園としての活用と、市が窓口となり外国人に耕作してもらおう考へは。

答弁 市民農園としての利用は効果的と考へるので、さまざまな形を想定し、地権者や関係団体等の協力を得て開設を進めていきたい。外国人の農業参入は、一般的な新規参入の場合と同様に検討するが、まずは市民農園のあつせんをしていきたい。



名、62%の参集状況であった。施設の点検等をしたが、混乱もなく無事対応できた。

農林水産業

【質問】 茶価格の低迷、稲作収量の低下、原油高騰に伴う施設園芸の廃業等、大変厳しい経営状態が続いている現状における具体的な振興施策は。また、荒地の利活用の考えは。

荒地の利活用は、市民農園の開設、法人等の新規参入受け入れ等を推進したい。現場の声を聞き、一生懸命努力している農業経営者の意欲が減退しないよう支えたい。

【質問】 食の安全は生産者の顔が見えることが一番と言われる中、地元産品の学校給食への供給度合いは。

【質問】 20年度の使用割合は重量ベースで39・7%で、米はすべて市内産を使用している。

【答弁】 国の燃油高騰緊急対策事業、市の石油代替エネルギー施設整備事業費の補助制度を継続している。担い手育成は、総合支援協議会で経営改善指導、設備投資などの利子助成等を行っている。また、

【答弁】 20年度の使用割合は重量ベースで39・7%で、米はすべて市内産を使用している。



地震防災対策／高齢者福祉・医療の充実
商店街・中心市街地の活性化

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

地震防災

【質問】 8月11日の地震の被害状況と課題、自主防災会の活動状況と課題は。

【答弁】 被害は負傷者1名等で、市民等への迅速な情報提供などが課題である。25の自治会から被害状況等の報告があったが、自主的に報告される仕組みづくりが重要である。

【質問】 後期高齢者医療保険料の滞納による保険証の取り上げはすべきではない。見解を。

【答弁】 昨年度は短期被保険者証の交付はない。今後もしも細かい収納対策を行い、広域連合と連携して対応する。

【質問】 6号機の新設はやめ、原発は計画的に廃炉にすべきと考えるが見解を。

【答弁】 今回の地震で外部への放射能の影響はないとの報告である。新設の取りやめや廃炉の要望は、電力の安定供給の点から、行う考えはない。

高齢者福祉・医療

【質問】 後期高齢者医療保険料の滞納による保険証の取り上げはすべきではない。見解を。

【答弁】 昨年度は短期被保険者証の交付はない。今後もしも細かい収納対策を行い、広域連合と連携して対応する。



コミュニケーションセンター

【質問】 相互に補完し合える関係と推測する。競合業種もあり実態把握に努めたい。センターは1カ月でPRSステージ利用が8団体などであり、広く周知し利用拡大を図りたい。

【質問】 相互に補完し合える関係と推測する。競合業種もあり実態把握に努めたい。センターは1カ月でPRSステージ利用が8団体などであり、広く周知し利用拡大を図りたい。



浜辺のプロムナード

磐田市の水／天然ガスパイプライン
福田漁港界隈の風景

争論 中村 薫 議員

磐田市の水

【質問】 今之浦川総合内水対策緊急事業の課題は。

【答弁】 SLはまぼう会の都合や線路等の老朽化により利用を中止している。今後、安全性の確保に要する経費を積算してみたい。

【答弁】 高木蛭池線の新橋設置に伴い仙体橋を落橋することにより、一部の地権者の御理解が得られていない。引き続き最大限の努力をしていきたい。

【質問】 静岡・浜松間の天然ガスパイプライン計画の概要は。

【質問】 私たちは今、どんな水を飲んでいるのか。

【答弁】 民間3社が事業主となり、延長約113kmのガス管を主に道路内に埋設する。市内にはガバナステーションを1カ所設置する計画である。

【質問】 市の水道水は、天竜川と太田川を水源とする寺谷浄水場からの県水と、市内20カ所の井戸水源で賄われている。福田地区は、すべて県受水で、それ以外は県受水と自己水を併用して供給している。

【質問】 県営漁港整備事業で、市が使う場所として確保されている土地のビジョンは。

【質問】 下水道整備を急いでいただきたい。現状と課題は。

【答弁】 国所有地の利用ということで、厳しい制約が想定されるが、民間による宿泊施設の建設の可能性もあわせて、国県と協議する中で確認したい。

【質問】 20年度末現在で普及率は70・9%である。課題は、厳しい財政状況の中で効率のよい面整備を進めるほか、27年度県から移管される汚水処理場の管理・整備、管路施設の補修・更生等が必要となる。

【質問】 はまぼう公園のミニSは、もう走らないのか。

【質問】 高木蛭池線の新橋設置に伴い仙体橋を落橋することにより、一部の地権者の御理解が得られていない。引き続き最大限の努力をしていきたい。

【質問】 私たちは今、どんな水を飲んでいるのか。

【質問】 市の水道水は、天竜川と太田川を水源とする寺谷浄水場からの県水と、市内20カ所の井戸水源で賄われている。福田地区は、すべて県受水で、それ以外は県受水と自己水を併用して供給している。

【質問】 県営漁港整備事業で、市が使う場所として確保されている土地のビジョンは。

【質問】 下水道整備を急いでいただきたい。現状と課題は。

【答弁】 国所有地の利用ということで、厳しい制約が想定されるが、民間による宿泊施設の建設の可能性もあわせて、国県と協議する中で確認したい。

【質問】 20年度末現在で普及率は70・9%である。課題は、厳しい財政状況の中で効率のよい面整備を進めるほか、27年度県から移管される汚水処理場の管理・整備、管路施設の補修・更生等が必要となる。

【質問】 はまぼう公園のミニSは、もう走らないのか。

【質問】 高木蛭池線の新橋設置に伴い仙体橋を落橋することにより、一部の地権者の御理解が得られていない。引き続き最大限の努力をしていきたい。

【質問】 私たちは今、どんな水を飲んでいるのか。

【質問】 市の水道水は、天竜川と太田川を水源とする寺谷浄水場からの県水と、市内20カ所の井戸水源で賄われている。福田地区は、すべて県受水で、それ以外は県受水と自己水を併用して供給している。

【質問】 県営漁港整備事業で、市が使う場所として確保されている土地のビジョンは。

【質問】 下水道整備を急いでいただきたい。現状と課題は。

【答弁】 国所有地の利用ということで、厳しい制約が想定されるが、民間による宿泊施設の建設の可能性もあわせて、国県と協議する中で確認したい。

市長の市政に対する姿勢・見解 農業振興・農地保全の施策

誠和会 河島直明 議員

市政

質問 後期高齢者医療制度の廃止や公立高校の授業料相当分支給事務など、政権交代による民主党マニフェストは、本市に大きな影響があることが考えられる。見解は。

答弁 実施された場合には、現場が混乱しないように国県に働きかけていきたい。

質問 合併特例債3事業について、前向きな見解を。

答弁 高木蛭池幹線は、緊急性の高い3カ所を整備しており、早期供用開始に努めたい。南部救急医療施設は、医師会等と協議を重ね、整備のあり方を考えていきたい。大藤下神増線は、県道浜北袋井線と結ぶルートを、県事業として真剣に要望していく。

質問 特命調査室の位置づけ



け、業務内容、権能は。

答弁 市長を補佐する立場で、特命事項として支所の有効活用や自主運行バス等の調査研究をし、計画素案を作成している。事業は、担当課が行う。

磐田市の公民館のあり方 自治会からの要望事項

五和会 岡 實 議員

公民館

質問 公民館の適正規模は。

答弁 地域によって配置や位置づけ等に違いがある。今後は、適正規模や設置数、拠点公民館の必要性等を検討する。

質問 竜洋公民館の情報発信と地域活性化の問題点は。

答弁 地域づくりの拠点として、情報発信など、今の事業内容では薄い点が課題だと認識しており、今後は、地域との連携、住民参加を強く意識して運営するよう努めたい。

質問 受益者負担の原則の考え方と、使用料の問題点は。

質問 竜洋地区の公共交通を推進するのにか。

答弁 22年度中に試行運転の形で、デイマンド型乗り合いタクシーの準備を進めていく。

農業・農地

質問 遊休農地の解決策は。

答弁 担い手への利用集積等を推進していきたい。

質問 茶業の振興支援策は。

答弁 いわた茶振興協議会への活動助成を継続し、PRなどによる消費の拡大を推進するとともに、経営改革などの具体的な方策を、県・農協と相談しながら探していきたい。

質問 茶の転作を進める支援策が必要である。見解は。

答弁 農協の制度活用を促すとともに、市としても大きな課題と認識しているので、真剣に検討したい。

質問 受益と負担の公平性の確保といった点を考慮する必要がある。使用料は、同じ施設でありながら、有料、無料等の違いが生じ矛盾を引きずったままである。現在、行政コストプロジェクトにおいて、公共施設全般の使用料の見直しを行っている。

質問 現状と、今後の展開は。

答弁 20年度は、38自治会で延べ87回実施していただき、21万㎡余りの草刈りと、2万2千㎡余りの浚渫作業を行っていた。市は、約36km

農業振興・活性化 介護保険事業計画

五和会 高田正人 議員

農業振興・活性化

質問 市長の農業観と農業振興の考え方は。

答弁 農業は多面的機能を担う重要な産業である。農業の諸問題には、国の農業政策による根本的対策が必要である。本市としても担い手の確保など関係機関と連携し、継続した施策の推進に努めていく。

敬老会事業

質問 敬老会の今後の対応と委託料の見直しは。

答弁 今年度は、全市で実施方法が統一された。自治会によって経費のかけ方もさまざまである。自治会連合会とも協議し、今年度の課題も含めて、よりよい方法を検討する。



質問 地産地消の観点から学校給食での本市産農畜産物の利用を図るべきと考えるが、現在の状況と課題は。

答弁 市内産農産物の使用目標は、24年度で米を除き10%としている。ジャガイモ等は、市内産だけでは困難であるが、農協等と連携し、安定供給実現の取り組みを開始した。

教育・子育て支援 元氣のあるまちづくり

公明党磐田 小野泰弘 議員

教育・子育て

【質問】 深刻な問題を抱える家庭の保護者や子供に対し、専門的な対応をするスクールソーシャルワーカーへの対応は。

【答弁】 教育委員会教育相談係が、同等の役割を担っているが、同等の動向に注意しながら、配置を要望していききたい。

【質問】 教科書など近くの文字の判読に必要な、近見視力のチェックとフォローの見解は。

【答弁】 小中学校では、法施行規則で示されている裸眼視力を検査している。近見視力は、国等の動向を注視し、子供の様子について、保護者と連絡を取り合い確認等に努める。

【質問】 家庭児童相談員の課題と今後の展開は。

【答弁】 相談内容が多様化し、対応が非常に困難になっている。今後は、関



係機関の横の連携を強化し、多方面からの支援体制を構築していく。

【質問】 通院医療費助成の小学校3年生まで引き上げを。

【答弁】 現時点では考えていな

市長の政治姿勢と今後の市政運営

五和会 山田安邦 議員

【質問】 市長就任後の市政改革のための活動内容は。

【答弁】 市長の給与カットや交際費と専用公用車の廃止、特命調査室設置等を実施した。乳幼児医療費助成事業の拡充などは来年度から実現したい。

【質問】 今後の市財政の見直しと必要な財源確保の方策や総合計画などの見直しの考えは。

【答弁】 景気悪化が進み、法人市民税が約10億円の減収見込みである。時間外手当などの経費削減に努めているが、財政調整基金取り崩しや減収補てん債での対応と中期財政計

いが、県下同じ制度になるよう、県に要望した。

まちづくり

【質問】 国が支援する「建設業と地域の元氣回復助成事業」への、市の取り組みと対応は。

【答弁】 地域の活性化が期待できるので、建設業団体等から具体的な提案があれば、参加を検討したい。相談が1件あったが、構想段階であり、継

画の見直しも必要と考えている。財源は遊休資産の処分などで確保に努める。総合計画に掲載している事業は、延伸してでもやらねばという思いのほう強い。

【質問】 一般会計から病院会計へ毎年15億円、5年間で70億円の繰り出しを行うとの覚書等の、事実関係を含め見解を。

【答弁】 覚書は20年6月9日付のもの。前任者の真意はわからない。議会への報告もななく、就任後に覚書を見たとき驚いたが、支出を義務づけられるものでなく、病院の経営

統協議の予定である。

【質問】 農地法等改正による、市の対応と課題は。

【答弁】 耕作放棄地が増加している。法人の参入を進めたい。課題は、違反転用の増加や、参入者の撤退による新たな耕作放棄地の発生などが懸念される。また、新規参入者と地域等との調和を図ることも課題である。

改善内容等をチェックし判断するものと認識する。

【質問】 磐田のものづくり技術で新しい産業づくりを進め、環境に優しい事業を応援するための具体的な支援策とは。

【答弁】 新しい事業展開につながるため、産業支援団体と協力し、技術の紹介に取り組みたい。また、市立総合病院への太陽光発電システムの設置等を計画していく。



同報無線の活用と防災の課題 健康な生活を守る対策／継続課題の今後

公明党磐田 鈴木喜文 議員

同報無線と防災

【質問】 行方不明の捜索協力依頼の放送は臨機即応の活用を。また、8月15日の正午に平和祈念のサイレンが鳴らされていないが、今後の対応は。

【答弁】 捜索協力放送の頻度は、今後、家族や関係者の要望にこたえられるよう努めたい。サイレンは来年度から鳴らす。

【質問】 いわた市ホットとラインの携帯電話メール配信が、8月11日の地震で活用できたか。

【答弁】 即時対応が難しく、配信を行えなかった。今後、正確かつ迅速な対応に努める。

【質問】 災害時に、複数部署が同じ地域を調査する縦割り組織を見直し、地域担当などの迅速かつ有効な体制づくりを。

【答弁】 地域を分割して担当を決め、必要な情報を一元的に調査する体制を、遅くとも年度内には整えていく。

健康生活

【質問】 新型インフルエンザに對する市立総合病院の体制は。

【答弁】 集団発生が疑われる場合は感染症診察室で診療している。今後は、外来への一時待機室の設置や大型エアテン

トによる駐車場での発熱外来の設置を考えている。

【質問】 薬物禁止の取り組みとして、防止教室の緊急開催と青少年問題協議会の活用を。

【答弁】 今後教室を開催する学

校にはできるだけ早く、実施済みの学校にも引き続き啓発等に取り組みよう求めていく。青少年問題協議会は10月なるべく早い時期に臨時で開催し、一層の啓発等を図りたい。

【質問】 全国高校女子サッカー選手権大会の今後は。

【答弁】 26年度まで開催する中で、質の高い大会づくりに努めたい。大会改編も考えられ、協会と情報交換を密にしたい。

【質問】 全国高校女子サッカー大会

【答弁】 小学校利用について、今までの経過と今後のあり方は。

【答弁】 15年4月から保育室不足を補うため教室を使用している。耐震補強したが老朽化しており、分園も考え現在地と市営住宅跡地を候

【質問】 園の正規保育士が5割程度だが、保育士の確保は。

【答弁】 正規職員を配置した上で、園の児童数により嘱託及び臨時職員を含めた保育士を適正配置している。

【質問】 子どもの医療費助成拡大を、来年4月から早めて実施すべきと考えるが見解を。

【答弁】 22年度から実施する方針で、変更は考えていない。

子育て応援

【質問】 保育所の待機児童対策として、認可外保育所への支援の考えは。

【答弁】 市内12カ所の認可外保育施設へ、利用児童の保育環境を整えるため、児童の健診補助、備品購入補助等を行っているが、今後必要な補助については検討していく。

【質問】 磐田北幼稚園の磐田北

小学校利用について、今までの経過と今後のあり方は。

【答弁】 15年4月から保育室不足を補うため教室を使用している。耐震補強したが老朽化しており、分園も考え現在地と市営住宅跡地を候

【質問】 園の正規保育士が5割程度だが、保育士の確保は。

【答弁】 正規職員を配置した上で、園の児童数により嘱託及び臨時職員を含めた保育士を適正配置している。

子育て応援の推進／安心安全な学校給食 上下水道料金改定

日本共産党磐田市議員

稲垣あや子 議員

【質問】 園の正規保育士が5割程度だが、保育士の確保は。
【答弁】 正規職員を配置した上で、園の児童数により嘱託及び臨時職員を含めた保育士を適正配置している。
【質問】 子どもの医療費助成拡大を、来年4月から早めて実施すべきと考えるが見解を。
【答弁】 22年度から実施する方針で、変更は考えていない。
【質問】 学校給食への地場産物活用の工夫と課題は。
【答弁】 地場産物を使用した献立や、農協や県、生産者組織と連携した取り組みを進めている。今年度は32人の生産者に納入をお願いし、小中学校5校で市内産使用3割を目標にしている。給食で多く使用するジャガイモ、ニンジン等の安定的調達が課題である。
【質問】 上下水道料金
【質問】 審議会の答申を受けて、行政としての考えは。
【答弁】 答申をできる限り尊重し改定すべきと考える。水道料金は統一し、下水道使用料は改定幅を抑え、影響を少なくするよう検討する。



磐田北幼稚園保育室 (北小)



全国高校女子サッカー大会

水道料金の統一改定 旧見付学校・旧赤松家の施設有料化

五和会 八木邦雄 議員

水道料金

【質問】 水道料金は、合併協議会で5年以内に見直しを図るとある。本年度中に見直しをして、来年度からの料金に反映させるのか何う。
【答弁】 本年6月に、水道事業審議会から、平均16%の料金改定を行うべきと答申をいただいた。答申をできる限り尊重し改定すべきと考える。水道料金は統一し、できるだけ早い時期に結論を出し、議会への報告及び市民への公表をしていきたい。

【質問】 旧見付学校と旧赤松家記念館の施設有料化の理由は。
【答弁】 行財政改革の流れの中で、受益者負担が課題に上げられていることから、現在、有料化の検討をしており、22年4月を目標として協議している。しかし、旧赤松家の整備が中途である



旧見付学校

ことや、両施設の入場料徴収に係る環境整備等に課題が残されていることも認識している。今後、さらに検討が必要と考えている。
【質問】 旧見付学校と旧赤松家記念館の今後の活用法は。
【答弁】 市政や教育のシンボルであり、観光的要素もあわせ持った磐田の顔と認識している。生きた歴史財として、学校教育の場で活用していくと同時に、市内外の方々に足を運んでもらえるような工夫を考えていく。旧見付学校は、製作した教科書の貸し出し等の工夫を考え、学校に旧見付学校を認知してもらい、社会科など実際の授業に活用してもらえればと考えている。旧赤松家記念館は、今年度、突出して入場者が多かったイベントを分析し、入場者数の増を目指し、管理の経費の一部でも御負担いただければと考えている。

審議結果一覧表

■全会一致により可決・認定・同意された議案

- (1) 21年度一般会計補正予算（第2号）
- (2) " 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- (3) " 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) 国民健康保険条例の一部改正
- (5) 20年度磐田市外1組合公平委員会特別会計歳入歳出決算
- (6) " 土地取得事業特別会計歳入歳出決算
- (7) " 老人保健特別会計歳入歳出決算
- (8) " 介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- (9) " 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- (10) " 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (11) " 駐車場事業特別会計歳入歳出決算
- (12) " 広瀬財産区特別会計歳入歳出決算
- (13) " 岩室財産区特別会計歳入歳出決算
- (14) " 虫生財産区特別会計歳入歳出決算
- (15) " 万瀬財産区特別会計歳入歳出決算
- (16) " 水道事業会計決算
- (17) " 病院事業会計決算
- (18) 21年度一般会計補正予算（第3号）
- (19) " 老人保健特別会計補正予算（第1号）
- (20) " 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- (21) " 水道事業会計補正予算（第1号）
- (22) 財産の譲渡（10の3番組自治会）
- (23) 財産の譲渡（南島自治会）
- (24) 養護老人ホームとよおか管理組合規約の変更
- (25) 中東遠看護専門学校組合規約の変更
- (26) 浅羽地域湛水防除施設組合規約の変更

- (27) 市道の路線認定
- (28) 市道の路線変更
- (29) 市道の路線廃止
- (30) 固定資産評価員選任の同意

■賛成多数により可決・認定された議案

- (1) 20年度一般会計歳入歳出決算
 - (2) " 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
 - (3) " 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
 - (4) 共葬墓地条例の一部改正
- ※ これらの議案は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。
- (1)(2)(4)の議案…賛成26(五・誠・新・公・市・争)、反対3(共)
 (3)の議案……………賛成25(五・誠・新・公・市)、反対4(共・争)

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 決算特別委員会の設置・付託、委員の選任
- (2) 市議会議員の派遣

会派名の表記

「五」五和会、「誠」誠和会、「新」新磐田、「共」日本共産党磐田市議団、「公」公明党磐田、「市」市民自治クラブ、「争」争論

委員会視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進都市へ行政視察を行いました。

○総務委員会（8月19日～21日）

- (1) 震災後の対応（宮城県栗原市）
- (2) 公共サービス民営化制度（千葉県我孫子市）
- (3) 情報化施策（千葉縣市川市）

○民生病院委員会（8月17日～19日）

- (1) 福祉諸施策の連携（埼玉県行田市）
- (2) 公立病院の運営状況（埼玉県川口市）
- (3) 地域福祉の推進（千葉県船橋市）

○文教産業委員会（8月17日～19日）

- (1) 地産地消給食（京都府長岡京市）
- (2) 通学区域の弾力化（京都府向日市）
- (3) 公の歴史・文化施設（兵庫県、滋賀県長浜市）
- (4) 幼保一元化（滋賀県米原市）

○建設環境委員会（8月18日～20日）

- (1) ごみ処理施設（城南衛生管理組合）
- (2) 公園整備（福岡県大野城市）
- (3) 景観形成団体（福岡県太宰府市）
- (4) 地域公共交通（福岡県前原市）

11月定例会の予定

—11月20日～12月16日（27日間）—

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

- | | |
|---------|----------------------|
| 11月 20日 | 本会議（議案の上程等）
常任委員会 |
| 24日 | 常任委員会（審査予備日） |
| 27日 | 本会議（先議議案の採決等） |
| 30日 | 本会議（代表質問） |
| 12月 1日 | 本会議（代表質問） |
| 2日 | 本会議（一般質問） |
| 3日 | 本会議（一般質問予備日） |
| 4日 | 本会議（議案に対する質疑等） |
| 7日 | 常任委員会 |
| 8日 | 常任委員会 |
| 9日 | 常任委員会（審査予備日） |
| 16日 | 本会議（議案の採決等） |

※いずれも午前10時から

政治家の年賀状は禁止されています

政治家（候補者・候補者となろうとする者・現に公職にある者）は、公職選挙法により選挙区内の人に対して、あいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことが禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。